

中町中学校だより 丘山通信

令和6年度 11月号
多可町立中町中学校
令和6年 11月6日（水）発行
<https://www.town.taka.lg.jp/naka-jhs/>
電話 32-0009 文責：校長 神崎

学校行事を通して、育みたいこと・・・

学校長 神崎進吾



体育祭を終えて（3年生学年写真）

9月の猛暑が嘘のように、朝夕めっきりと肌寒くなってきました。この1か月は、10月5日（土）に文化祭、中旬の土日には2週間にわたる部活動の東播地区新人体育大会、そして、11月3日（日）には体育祭と、それぞれの取り組みに向けて、大変忙しい1か月となりました。

2学期の始業式では、生徒たちに「何でも本気でやるから面白い。本気でやるから学びがある。ぜひ学校行事に全力を尽そう」、「学校行事等で忙しい2学期だからこそ、行事に流されないこと。

凡事徹底を」、そして「人（他者）を大切にしよう」という話をしています。保護者の皆様の目からみて、お子様の様子はいかがだったでしょうか。個々に課題はあるかもしれませんが、概ね意欲的に学校生活に取り組んだ2学期前半であったのではないのでしょうか。

学校行事で、我々教職員が大切にしていることは、「生徒自らの手で、一つの行事を創り上げる」ということです。教師が主導する文化祭・体育祭ではなく、生徒自らが3年生リーダーを中心に全校生をリードして、合唱や各種目、そして行事全体を創り上げるということです。出来や見栄えは多少悪くてもいい。3年生リーダーが前に立ち、下級生をリードして創っていく「手作りの文化祭・体育祭」。そこにこそ子どもの学びがあり、成長がある。そんな中でこそ「人との関係を適切に築く力」や「仲間と協力して課題を解決する力・課題に対応する力」が育つ、そう考えています。

もちろん、そのためには、教員のフォローは欠かせません。生徒と教員の綿密な打ち合わせが必要となります。教員主導で取り組むよりも時間はかかります。3年生リーダーは、文化祭・体育祭を創るにあたり、夏休み前から練習計画を考え、何度も何度も教員と協議を積み重ねてきました。

全校生徒の前に立ち、仲間を引っ張るのは簡単なことではありません。リーダーの準備一つ、言葉かけ一つで全校生の動きが変わってきます。一生懸命に準備をしてきても、うまくいかないこともあります。反省、そして改善の連続です。そうやって苦勞しながら創り上げた文化祭や体育祭。この間の3年生リーダーたちの成長には、目を見張るものがありました。行事の度に一回りも二回りも大きく逞しく成長した彼らの姿を、きっと後輩たちも胸に刻んだことでしょう。

完全燃焼。本当によくやり切りました。3年生の次の目標は、もちろん、自分自身の進路決定です。昨日、体育祭を終えて最初の登校日、さっそく、朝の学活の時間に学年集会を開き、進路に向けての話がありました。2年生は、次期リーダーを決める生徒会役員選挙に向けての取り組みがスタートしています。1年生は、期末テストに向けての取り組みを始めています。

保護者の皆様におかれましても、新たな目標に向かってスタートを切った生徒たちの応援を、これからもよろしくお願いいたします。

《特集 令和6年度文化祭》

10月5日（土）、文化祭を開催しました。今年も多くの保護者の皆様に来校いただき、会場も満員となりました。この日のために、学級で、また、生徒会を中心に学校全体で、準備を進めてきました。半日あまりのプログラムですが、とても中身の濃い一日となりました。生徒たちが「本気」になって取り組み、「節度」のある中で大いに楽しむ爽やかな文化祭となりました。「熱響～206のスマイルズ～」のスローガンのとおり、みんなの心一つに歌声を響かせ、笑顔のはじける、素敵な文化祭を創り上げました。

【龍神太鼓】

オープニングを飾ったのは、龍神太鼓。忙しい合間を縫って、夏休みから練習に励んでいました。和太鼓の力強い演奏で、大いにオープニングを盛り上げてくれました。



【合唱コンクール・学年合唱】

メインプログラムである「合唱コンクール」と「学年合唱」、ともに素晴らしかったです。春から見違えるように上手になりました。1学期から今日まで、狩谷先生の指導の下、みんなで力をあわせて、コツコツと練習を積み重ねてきました。きっと上手くいく時ばかりではなかったことと思います。それぞれの想いがかみ合わず、うまくいかなかったこともあったかもしれません。それらを乗り越えて、本番の日を迎えました。そして、緊張感を乗り越え、練習の成果を存分に発揮してくれました。みんながこの合唱コンクールに向けて「本気」で取り組んで来たのがよくわかりました。合唱は人数では決まりません。歌の得意な数名だけががんばっても、美しいハーモニーは生まれません。合唱の成否は、それぞれがどれだけ想いを込めて取り組むかにかかっています。みんなで創り上げた、みんなの想いのこもった合唱。素晴らしかったです。みんなでこれだけの合唱を創り上げたことに、誇りをもってほしいと思います。この半年間の練習で、きっと合唱の素晴らしさを知り、合唱が好きになった人が随分増えたのではないのでしょうか。

（合唱コンクール）

	クラス	曲 名	指揮者	伴奏者
1	1年2組	「HEIWAの鐘」		
2	1年1組	「旅立ちの時 ～Asian dream song～」		
3	2年1組	「ほらね、」		
4	2年2組	「空は今」		
5	3年1組	「手紙」		
6	3年2組	「友 ～旅立ちの時～」		



1年1組



1年2組



2年1組



2年2組



3年1組



3年2組

(学年合唱)

	学年	曲 名	指揮者	伴奏者
1	1年	「マイバラード」		
2	2年	「COSMOS」		
3	3年	「虹」		



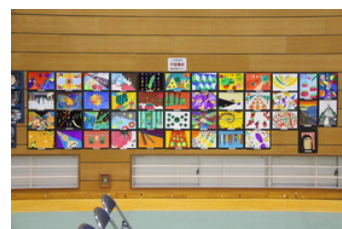
【有志演技】

合唱の後は、有志ステージ。コント、ピアノの連弾、歌、ダンスと、いつの間に練習をしたのかと驚かされるぐらい、クオリティの高い演技を披露してくれました。一生懸命によく練習してきたのが、よくわかりました。みんなで大いにリラックスして楽しめる時間になったと思います。みんなの前に出るというのは勇気のいることです。みんなのために、よく頑張ってくれました。



【展示】

文化祭に向けて作成した作品やこれまでの学習の成果を、体育館の壁面と調理室を利用して展示しました。体育館では、修学旅行新聞、理科の自由研究作品展、書写、家庭科の2年生調理レポート、美術科の1年生絵文字（好きな字をデザイン）、2年生木版画（自画像）、3年生平面構成（野菜や果物をデザイン）等を展示しました。また、調理室では、家庭科の1年生衣服リメイク・リフォーム、美術科では、2年生モビール（揺れるスタンド作品）、3年生張り子の面（誕生月をイメージ）、3年生スクラッチ（浮世絵を模写）等を展示しました。美術科の作品は、美術室に移動して継続して展示します。他の人の作品から学ぶことは、きっとたくさんあります。こういった機会にぜひじっくりと観てみましょう。



【吹奏楽部演奏】

最後のプログラムは「吹奏楽部の演奏」。曲は、ジブリ・メドレーに始まり、アフリカンシンフォニー、ポケモン・スカーレットバイオレットのメインテーマ、英雄の証、ツキミソウ、アイドル、ブラザービート、タイムパラドックス、シング・シング・シングに加え、アンコール曲のParadise Has No Borderを含む全10曲。3年生にとって最後のステージということで、これまで培った全ての力を出し切った演奏、会場全体で大いに楽しめるステージを創り上げてくれました。誇らしく堂々とソロパートを演奏している一人ひとりの顔を見ていると、みんな本当にいい顔をしていました。この3年間、本当に今までよく頑張ってきたということが、伝わってくる演奏でした。



《特集 令和6年度体育祭》

体育祭は、その本番も大切ですが、当日までの練習の過程を何より重視しています。その過程の一端を紹介します。

①体育祭実行委員会

体育祭に向けて、生徒会役員たちは、毎日、昼休みの時間を利用し、体育祭実行委員会を開催し、翌日の練習内容について協議・確認をしながら進めました。協議・確認内容については、体育祭新聞にまとめ、翌日の正副委員長会で報告し、各クラスに伝えています。今年は、例年になく天気が不安定で、予定変更を余儀なくされました。しかし、体育担当の山本先生からも「こういう状況も楽しもう」との言葉どおり、役員たちは前向きに変更をとらえ、臨機応変に対応し、乗り越えました。



②体育祭練習 その1（3年生リーダー）

10月21日（月）、本格的に体育祭の練習がスタートしました。本校の体育祭は、3年生リーダーが中心となって、自ら創り上げる“手作りの体育祭”です。3年生リーダーは、種目ごとに担当を決め、夏休みから準備にかかってきました。体育祭の練習も2週目を迎えるころには、全校生の前に立つ3年生リーダーたちの姿も、だんだん様になってきます。リーダーとして全校生を相手に説明をし、仲間を動かすのはなかなか大変です。一体、どんな風にしたら上手く説明ができて、その競技がスムーズに進むのか、何回もシミュレーションして練習に臨みます。練習が終わった後も反省会です。これを繰り返していく中で、徐々にその競技を創り上げていきました。



③体育祭練習 その2（生徒会タイム）

中町中学校の一つの目玉となっているのが、生徒会を中心に全校生徒で創り上げる「生徒会タイム」です。今年度も「創作ダンス」を行います。リーダーの中にはダンス経験者もあり、振り付けを考案しました。もちろん、ダンスが得意な人ばかりではありません。苦手な人も大勢います。全校生がどうやったら踊れるようになるかを、必死で考えました。特に、1年生にとっては初めての経験。みんな苦戦しながらも必死に食らいつき、練習を積み上げました。体育祭2日前には、これまで一度も最後まで通して踊れていなかったのですが、ついに通して踊りきることができました。本番では、みんなで心一つに、大いに笑顔で楽しみ、最高のダンスを創り上げました。



④体育祭練習 その3（クラスタイム）

各クラスの課題練習をするクラスタイム。練習が進むにつれ、クラスごとに、苦手な種目や練習が必要な競技が出てきます。その課題克服のための時間が「クラスタイム」です。もちろん、その種目が苦手な人もいます。それをどう仲間でフォローしていくかを考えることも大切です。各クラスの実態に合わせて、必死になって練習します。クラスの団結力が高まる時間です。



⑤令和6年度体育祭本番

昨日までの豪雨が嘘のように、爽やかな秋空の広がる絶好の体育祭日和となりました。わずか2週間という限られた練習時間でしたが、3年生のリードのもと、毎日、真剣に頑張りました。そして、3年生のリーダーシップに応えるかのように、全校生徒みんなが、それぞれの役割を責任をもって果た

し、素晴らしいメンバーシップを見せてくれました。

カー杯の走りを見せたりレー種目、各学年で創意工夫し力を合わせた学年競技・綱引き・大縄跳び、全校生で取り組んだ生徒会タイムのダンスと、いずれも見応えがありました。まさに、「自分たちで創り上げる」「手作りの体育祭」、そして「真剣にやるときは真剣にやる・楽しむところは大いに楽しむ」「メリハリのある」中町中学校らしい素晴らしい体育祭となりました。



4 × 1 0 0 R



1 年生学年演技



2 年生学年演技



3 年生学年演技



大縄



綱引き



生徒会タイム（全校ダンス）



表彰



生徒会リーダーより

◎総合（縦割り表彰） Ⅰ位 赤組（Ⅰ組学年団）

【赤組（Ⅰ組学年団）】

	得点
Ⅰ年	83
2年	65
3年	90
合計	238

【白組（2組学年団）】

	得点
Ⅰ年	68
2年	86
3年	61
合計	215



◎種目別記録

	Ⅰ位（Ⅰ年）	Ⅰ位（2年）	Ⅰ位（3年）
入場行進	Ⅰ組	2組	2組
女子4×100mリレー	2組	Ⅰ組	Ⅰ組
男子4×100mリレー	Ⅰ組	Ⅰ組	Ⅰ組
学年演技	ハッピーターン Ⅰ組	ぱん太郎 2組	n+Ⅰ Ⅰ組
綱引き	Ⅰ組	2組	Ⅰ組
大縄	2組	Ⅰ組	Ⅰ組
男女混合選抜 6×100m	2組	2組	Ⅰ組
学年総合	Ⅰ組	2組	Ⅰ組

<3年生、子育てふれあい体験>

10月9日(水)、3校時に、3年1組が家庭科で「子育てふれあい体験」を行いました。お世話になったのは、子育てふれあいセンターの職員の皆さんとその利用者のお母さんと赤ちゃんたちです。まず、各グループに分かれ、ローテーションで、ぬいぐるみを使った胎児のお話、妊婦体験、赤ちゃん人形の抱っこ体験活動を行いました。その後、赤ちゃんたちと実際にふれあいながら、お母さんたちへの質問タイムに入りました。生徒たちからは「子育てして楽しいことは?」「反対に大変なことは?」「どんな風に一日過ごしているの?」「子育てする中で一番大切にしていることは?」「子どもの機嫌が悪いときはどうやってあやすの?」「周囲の人はどんなふうにお手伝いをすれば助かるの?」等たくさんの質問が出されました。母親ならではの回答に、生徒たちも興味津々で聴いていました。乳幼児とのふれあいやお母さんからお話を聴くことを通じて、自分自身もこれまで多くの人に支えられながら大きくなってきたことに気づき、かけがえのない命を大切に、これからの生き方を考える良き機会になりました。



<生徒会、美化コンクール&PP大会>

10月15日(火)、文化祭が終わり、部活動の東播新人大会の真っ最中。そして、体育祭の取り組みもいよいよスタートしています。何かと行事で忙しいこんな時だからこそ、今一度自分たちの生活を見直そうと、生徒会が今週、美化コンクールとPP大会を実施しました。美化コンクールでは、床がきれいに掃けて拭けているか等7つの項目を点検します。またPP(パーフェクト・パーキング)大会では、駐輪場にきちんと自転車を停めているかを確認するもので、斜め駐車をしていないか、鍵を抜いているか等、4つの項目を点検します。「凡事徹底」のスローガンのもと、自分たちの生活を自分たちの手で、より良いものにしていくために、地道な活動に取り組むところが、本校の良いところですね。結果は以下の通りです。どちらのクラスもコンクールのために頑張ったのではなく、日頃からきちんと取り組んでいるその成果が出たというべきでしょう。素晴らしいです。

○美化コンクール・・・最優秀賞3年1組、優秀賞1年1組

○PP大会・・・・・・・最優秀賞1年1組



<1年生、東・北播地区中学校社会科研究大会>

10月24日(木)、午後から1年1組が、八千代中学校で開かれた東・北播地区中学校社会科研究大会で、地理の研究授業に臨みました。単元は「世界の諸地域、アフリカ州」。「ナイジェリアの子どもたちを救う日用品を開発しよう!」を単元のプロジェクト課題とした「社会科PBL的単元構成による授業」です。いつもと違う教室、そして、何より約40人の先生たちに囲まれて、生徒たちも最初は緊張で固まっていたましたが、授業が進むにつれていつもの元気良さを取り戻し、アフリカで成功を収めた日本企業について、資料をもとに調べ学習を行い、その結果を発表しました。良い体験になったのではないのでしょうか。



表彰・出展の記録

○令和6年度多可郡理科自由研究作品

【多可町教育長賞】

1年 「家に植えてある花のつくりなどについて」

【東播理科部会長賞】

3年 「磁鉄鉱を探しに行こう」

【入選】

1年 「イカの生態について」

1年 「ペットボトルに光を当てるとどうなるか」

2年 「野菜の道管を調べる」

2年 「おいしい温泉卵をつくるには？」

2年 「野菜を長く保存する方法とは」

3年 「音の出るしくみ」

3年 「さまざまな発電」

○令和6年度兵庫県中学校総合文化祭展覧会

（美術部門）

【特選】 2年 「かめに願いを」

【入選】 2年 「幻想都市」 3年 「4 seasons & 4 sky」

（書写部門）

【特選】 2年 【入選】 3年 3年

○第76回兵庫県幼・小・中造形教育展

（絵画・デザイン）

【入選】 2年 「夏の夕暮れ」 「スプーンに映った自分」

「スプーンに映る自分」 「スプーンに映る自分」

「スプーンで伸びてみました」 「コテに映る自分」

「スプーンに映る長い像」

3年 「キュウリと仲間」 「スイカの世界」

「スイカ達」

「トマトの平面構成」 「夏の果実」

○全国おじいちゃん、おばあちゃん子ども絵画展

【兵庫県知事賞】 1年 【入選】 2年

○みなぎの書道展出展者

1年

2年 3年

○多可町子ども作品展出展者

（図画の部）28名 （書道の部）28名



○種目	○会場	○結果
フットボール部	中町中学校	Ⅰ 回戦 対 小野中(6対12)
陸上競技部	加古川運動公園	Ⅰ 年男子100m 13,26
	陸上競技場	Ⅰ 年男子100m 13,54
		Ⅰ 年女子100m 14,59
		Ⅰ 年女子100m 15,06
		共通男子 4×100mR 55,78 共通女子 4×100mR 59,42

男子テニス部	吉川総合公園	個人の部	ペア 1回戦惜敗
			ペア 1回戦惜敗
			ペア 1回戦惜敗
女子テニス部	吉川総合公園	個人の部	ペア 1回戦惜敗
			ペア 1回戦惜敗
			ペア 1回戦惜敗
			ペア 1回戦惜敗
			ペア 4回戦惜敗
			※東播ベスト8、県大会出場
		団体の部	1回戦 対 小野南中 (1-2)

野球部	小野市榊公園野球場	1回戦 対 播磨中(0-7)	
サッカー部	高砂市陸上競技場	1回戦 対 衣川中(3-0)	
		2回戦 対 AC 高砂(2-2)	※東播ベスト8

剣道部	高砂市総合体育館	男子個人	2回戦惜敗	1回戦惜敗
			1回戦惜敗	3回戦惜敗
		男子団体	1回戦 対 松陽中(3-1)	
		2回戦 対 中部中(1-3)		
		女子個人	2回戦惜敗	1回戦惜敗
			3回戦惜敗	1回戦惜敗
		女子団体	2回戦 対 朝霧中(5-0)	
		3回戦 対 二見中(0-2) ※東播ベスト8 県大会出場		

(スポカルたか 加古川市 男子個人 3位 ※県大会出場
・吉田卓球場) 総合体育館

キ リ ト リ 線

《第8号（11月）返信欄》

年 組 番 氏名 () の父親・母親・祖父・祖母・兄・姉 (掲載可 どちらでも 掲載不可)

